

「貞徳の会」のきまり（設立趣旨と入会のお誘い）

松永貞徳は俳諧（俳句）流行の口火を切りました。でも、その後の俳句史では軽く扱われています。貞徳が俳句を俗語による詩、としたことの意義は今なお俳句の中に脈々と生きています。

私たちは洛北・妙満寺の句会「雪の会」「月の会」「花の会」を通して貞徳に親しんできました。その実績を踏まえ、貞徳の仕事をちゃんと世間に伝えるために「貞徳の会」を発足させます。

会規は以下の通りです。気軽にご参加ください。

貞 徳 の 会 会 規

2018年5月17日 発足

- 1、この会を「貞徳の会」と呼ぶ。
- 2、本会は貞徳と貞門俳句を読み、その魅力を広く伝えることを主目的とする。
- 3、さしあたっての活動は「戴恩記」の輪読、「会席法度の古式」の解説とする。
- 4、また、貞徳の作品の読みやすいテキスト作成などを旨とする。
- 5、活動の拠点を柿衛文庫、実相寺、妙満寺とする。
- 6、例会は2ヶ月に1回を原則とする。第1回は5月17日(木)、柿衛文庫。
- 7、会費は例会の都度に参加費1,000円。
- 8、会は2018年5月から2021年4月まで（3年間）をとりあえずの活動期間とする。
- 9、会の運営は坪内稔典（柿衛文庫）、四方行元（実相寺）、湯原正純（妙満寺）、小枝恵美子（事務担当）が担当する。

坪内 稔典 (090-5651-5095)
 四方 行元 (075-691-9648)
 湯原 正純 (075-791-7171)
 小枝恵美子 (0772-63-0781)
 事務局：〒592-0004 高石市高師浜 4-7-18

.....《 入 会 申 込 書 》.....

フリガナ
お名前：

ご住所：〒 -

お電話：（会社・自宅・携帯）

e-mail：